新時代に対応した高校授業改革推進事業（指導と評価研究部門）

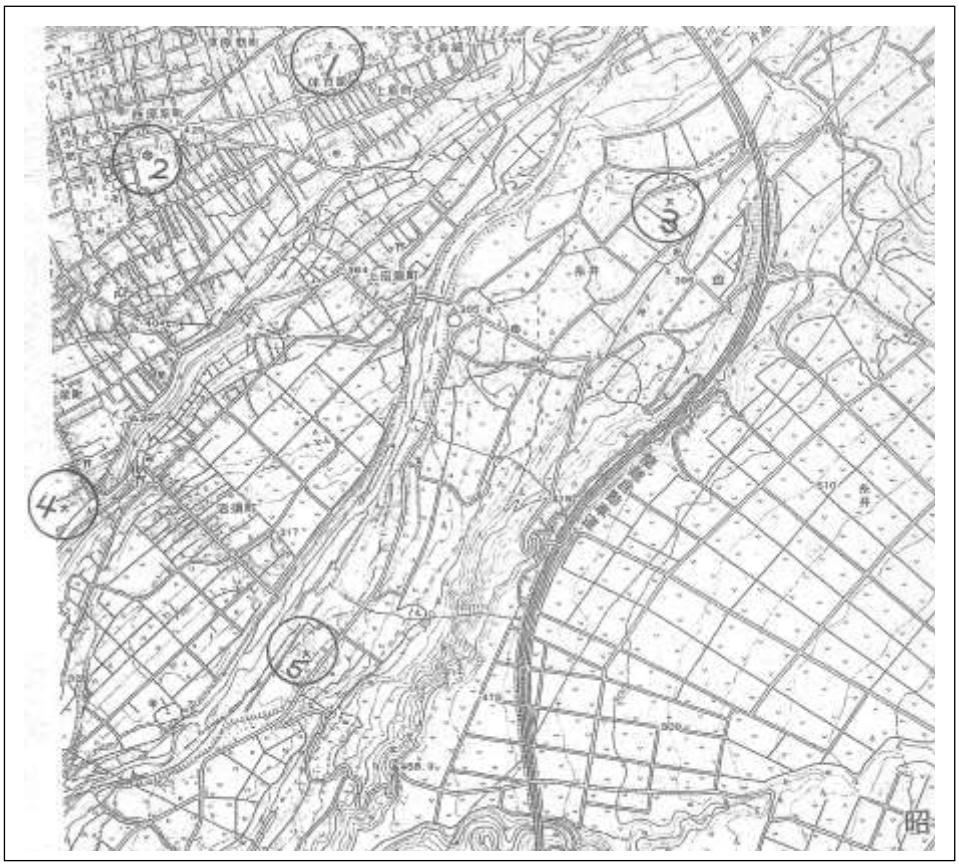
②評価問題（課題２）

高鍋高等学校 地歴科公民科

「思考力・判断力・表現力等」を測る評価問題の例

○ 定期考査（２年地理探究）出題例

次の地形図を見て、以下の問いに答えよ。



地理探究　東京書籍より作成

（１）地形図下の写真で、丸で囲んだところは、地形図中の小学校小中学校のいずれかであると考えられる。どの小中学校に該当すると読み取れるか。地図中の番号①～⑤より選び、番号で答えよ。

（２）地形的には河岸段丘と判断できるが、この地域の地形形成の特徴を読み取り、関越自動車道の東側の地域を地域資源創成の場としてさらに活性化させるとしたら、どのような方策が考えられるか。

上位段丘面は扇状地（群馬県）

地理探究　東京書籍より

○ 定期考査（1 年地理総合）出題例

① 時差を活用してできることは何があるか？

② 北半球と南半球の季節が逆のことを活かしてできることは何があるか？

・ルーブリックに基づく評価例

①生徒回答例【評価】

A	・24 時間いたる所に会社をおいたら、日本が夜でも他の国にある会社が対応してくる。 ・時間差リレーで企業として 24 時間の稼動ができる。 ・時差出勤をして企業を止めずにできる。 ・A の国が活動できる時間は B の国は休憩をして A の国が休憩するとき B の国が活動するみたいな国際分業の仕事。
B	・スポーツ中継の時間をずらして放送。 ・時差を利用して仕事をすることができる。
C	・旅行。 ・勤務時間をずらして働く、時差出勤があり、メリットとして、満員電車を避けれるなどの肉体的、精神的ストレスの削減がある。

②生徒回答例【評価】

A	・夏や冬でしか出来ないことを北半球と南半球を移動する事で 1 年中行うことができる。 ・それぞれが季節にあった作物を作って、互いに貿易し合えば夏でも冬のものを食べたりすることができる。
B	・その季節でしか取れないものを一年中取ることができる。 ・農業でその気候に適した野菜や果物などを作る。 ・農業。
C	・台風の違い。 ・旅行の手助け。

○ 単元テスト（1 年歴史総合）出題例

・古代インド史に関する問題

Q1　十六王国が淘汰されていく過程で，バラモン教に対する批判も高まり，新しい宗教やバラモン教内部での改革も出て来ます。こうした状況を相互に関連させながら，説明してください。（政治と社会は関連するということです）

Q2　仏教がインドで成立したにも関わらず，最終的にはインド国内では定着せず，東南アジアや東アジア方面への伝播する形で生き残っていきます。どうしてインド国内では生き残りを図　れなかったのだと思いますか。

Q3　古代インドでは北部でも南部でも古代ローマの貨幣が発掘されています。南北を統一した王朝はこの時期にはなく，それぞれ独自の国家体制を執っていました。それにも関わらず全く別々の場所で発掘されているのは何故でしょう。

○ 定期考査（1年歴史総合）出題問題例

問．下線部ｄが日本の近代化にどのような影響を与えたのか。（　２　）で学んでいたことに触れながら、簡潔に説明せよ。

１７世紀初め、日本では江戸幕府が中国やヨーロッパと積極的に交易を行っていたが、ａ次第に他国との接触を制限するようになった。具体的には、長崎で［　Ａ　］・［　Ｂ　］、［　Ｃ　］で朝鮮、ｂ薩摩藩で琉球王国、［　Ｄ　］で蝦夷地（アイヌの人々）とのみ交易を行った。このような政策を（　１　）という。 海外との接触を避ける中、日本国内では農村やｃ交通網が発達していった。また、教育や学問も盛んになり、ｄ庶民の教育機関である（　２　）が各地で増加した。武士については、藩校で儒学や国学、西洋の科学を学ぶ（　３　）が教えられ、その後の日本の近代化に影響を与えた。

思考・判断・表現の評価基準

評価	評価基準
A	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、それらを資料に基づいて多面的・多角的に考察することができている。加えて、歴史に見られる課題や現代的な諸課題の解決を視野に入れて考察し、それを説明したり他者の主張を踏まえて再構成して議論したりすることができている。
B	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などについて、資料を収集、選択、活用し、資料に基づいて考察している。加えて，考察したことを説明している。
C	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などについて考察しているが、事象相互の関連や資料に基づいていない。
D	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などについて、表現はしているが、積極的な考察をしていなかったり、自分の言葉で表現していなかったりしている。

問．下線部ｄについて、現代にも残る課題を１つ、（　１９　）と関連させながら簡潔に説明せよ。

１７世紀半ば、清は台湾の鄭氏への対抗措置として、人々の海上進出や民間貿易を禁止する（　１２　）を採っていたが、鄭氏を降伏させると、４港での民間貿易を公認するａ互市貿易に転じた。これにより、国内産業・商業が大きく発達し、食料生産の増加に伴って清の人口も急増した。また、民間貿易だけではなく、古代以来周辺国と行ってきた（　１３　）も継続して行われていた。ｂこうした貿易によって広域な海上ネットワークが形成され、後の華僑社会形成にもつながった。 １３世紀に現在のトルコ周辺には（　１４　）という国が成立し、それ以降アジアとヨーロッパを結ぶ貿易ルートを掌握していた。この影響を受けて、ヨーロッパ諸国による（　１５　）時代が誕生した。（　１５　）時代を経て、１６世紀以降、ヨーロッパ諸国のアジア交易参入が活発となり、日本でもｃ（　１６　）貿易が行われた。オランダやイギリスは（　１７　）を設立してアジア交易に参入した。同じ頃、ｄ北アメリカ大陸・ヨーロッパ・（　１８　）の３地域で（　１９　）

が行われた。これにより、ヨーロッパ諸国は莫大な利潤を得た一方、北アメリカ大陸・西インド諸島、アフリカでは現代にも残る課題が生み出された。

思考・判断・表現の評価基準

評価	評価基準
A	欧米の市民革命以降の世界の変化について、国民国家形成や帝国主義政策の背景や影響などに着目し、欧米とその他の諸地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどしたりしながら、それらを資料に基づいて多面的・多角的に考察することができている。加えて、国民国家形成や帝国主義政策に伴って生じた現代的な諸課題の解決を視野に入れて考察し、それを説明したり他者の主張を踏まえて再構成して議論したりすることができている。
B	欧米の市民革命以降の世界の変化について、国民国家形成や帝国主義政策の背景や影響などに着目し、資料を選択、活用し、資料に基づいて考察している。加えて，国民国家形成や帝国主義政策に伴って生じた現代的な諸課題について考察している。
C	欧米の市民革命以降の世界の変化について、国民国家形成や帝国主義政策の背景や影響などに着目して考察しているが、資料に基づいていない。
D	欧米の市民革命以降の世界の変化について、表現はしているが、積極的な考察をしていなかったり、自分の言葉で表現していなかったりしている。